秘密諜報機関（1961）

THE SECRET WAYS

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 112分
初公開日 1961/08/18
公開情報 ＵＮＩ

【解説】

マクリーン作『最後の国境線』の映画化。米ソの冷戦下のハンガリーを舞台にしたスパイ・サスペンス。１９６０年、スパイのレイノルズはハンガリーのヤンシー教授救出を依頼される。教授の娘ジュリアとウィーンからブタペストへ。期限は３日間。地下組織のアジトで教授と会ったレイノルズは教授の強情さから一旦は救出を諦めるが、敵の魔の手が地下組織に伸びて、教授、レイノルズ、そしてジュリアまでもが投獄される。薬と拷問に耐える彼らに脱出の道はあるのか？

スパイ物としては、少々緊張感が足りないが、ラストの畳み掛ける脱出行は迫力満点。ロマンスも描かれているが、こちらは中途半端である。寒々とした共産圏を浮き彫りにする白黒画面は、原作が雪に閉ざされたハンガリーが舞台なのに比べると物足りない。監督のＰ・カールソンは００７のようなユーモラスなスパイ物にしようとしたが、製作・主演のＲ・ウィドマークと対立して実現しなかった。マクリーン物としては最初の映画化作品。

【クレジット】

監督	フィル・カールソン	Phil Karlson
製作	リチャード・ウィドマーク	Richard Widmark
	ユアン・ロイド	Euan Lloyd
原作	アリステア・マクリーン	Alistair MacLean
脚本	ジーン・ヘイズルウッド	Jean Hazlewood
撮影	マックス・グリーン	Max Greene
音楽	ジョン・ウィリアムズ	John Williams
出演	リチャード・ウィドマーク	Richard Widmark
	ソニア・ツィーマン	Sonja Ziemann
	センタ・バーガー	Senta Berger
	シャルル・レニエ	Charles Regnier

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.